

みずほCustomer Desk Report 2018/01/15号(As of 2018/01/12)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.23
TKY 9:00AM	111.29	1.2044	134.02	1.3540	0.7885
SYD-NY High	111.70	1.2218	135.54	1.3743	0.7925
SYD-NY Low	110.92	1.2031	133.92	1.3537	0.7849
NY 5:00 PM	111.02	1.2200	135.42	1.3732	0.7914
NY DOW	25,803.19	228.46	日本2年債	-0.1400	▲1.00bp
NASDAQ	7,261.06	49.28	日本10年債	0.0700	0.00bp
S&P	2,786.24	18.68	米国2年債	1.9997	2.11bp
日経平均	23,653.82	▲56.61	米国5年債	2.3457	2.23bp
TOPIX	1,876.24	▲11.85	米国10年債	2.5489	1.31bp
ソコ日経先物	23,855	45.00	独10年債	0.5125	▲0.25bp
ロンドンFT	7,778.64	15.70	英10年債	1.3350	2.70bp
DAX	13,245.03	42.13	豪10年債	2.7100	▲0.55bp
ハンセン指数	31,412.54	292.15	USDJPY 1M Vol	6.86	0.14%
上海総合	3,428.94	3.60	USDJPY 3M Vol	7.51	0.11%
NY金	1,334.90	12.40	USDJPY 6M Vol	7.90	0.12%
WTI	64.30	0.50	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	196.06	0.90	EURJPY 3M Vol	8.46	0.29%
ドルインデックス	90.97	▲0.88	EURJPY 6M Vol	8.45	0.17%

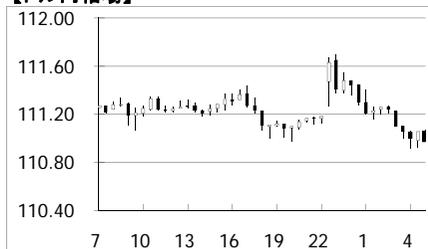
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月12日	8:50	日 経常収支	11月 ¥1347.3b	¥1836.1b
	12:03	中 貿易収支	12月 \$54.69b	\$37.00b
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	12月 0.1%/2.1%	0.1%/2.1%
	22:30	米 CPIコア(前月比/前年比)	12月 0.3%/1.8%	0.2%/1.7%
1月13日	22:30	米 小売売上高(前月比)	12月 0.4%	0.5%
	2:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁「18年の利上げは2回が適切」		
		米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁「18年は3回以上の利上げが必要」		
6:15	米			

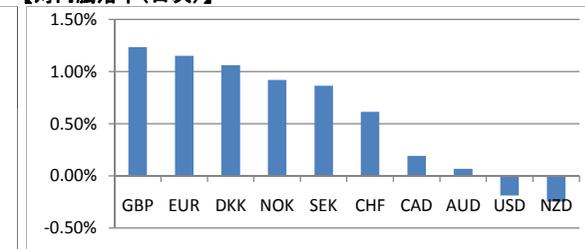
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月15日	-	米 休場(キング牧師生誕日)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.2150-1.2270	135.20-136.20

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は下値を試す展開。発表された米経済指標が堅調な結果となったことを受け、ドル円は一時111.70まで上昇する場面が見られたものの、ユーロが急上昇したことなどを背景にドル売り地合となり、111.00近辺まで押し戻される展開。一時111円台を割り込み、安値となる110.92をつけた後、安値圏でのクロスとなった。本日は引き続き上値の重い展開を予想する。ユーロやボンドなどが急伸する動きを見せる中、全体的なドル売り地合にドル円は上値を押しさえられる格好。日銀の出口戦略が意識されている状況ということもあり、引き続き上値の重い展開が基本線。但し、本日は米国休日である為、値幅は限られると考えている。

東京	東京時間のドル円は111.29レベルでオープン。前日海外時間で米株が過去最高値を更新したにも関わらず、日経平均株価が寄り付き後に下落する展開となると、ドル円も111.07まで下落した。その後、日経平均株価が下げ止まったこともあり、111.34まで切り戻したものの、同水準では上値の重さが意識された。午後は特段材料無く111.20付近で揉み合い推移となり、111.29レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.29レベルでオープン。日銀のオペ減額を受けた早期金融正常化への市場の若干の期待や対ユーロでのドル売りにドル円は下落。一時110.98まで下落した後、午後に発表される米指標を待ちながら111.17レベルでニューヨークへ渡った。ユーロは1.2045レベルでオープン。前日発表されたECB議事録の内容がガガ派であったためECBの早期金融緩和解除期待が高まっており、本日もユーロは堅調地合でロンドン市場はスタート。その後、独メルケル首相が社会民主党(SPD)との連立協議で暫定合意に達したとの報道にユーロは約2年ぶりの高値1.2138を付けた。1.2134レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	NY時間のドル円は111.17レベルでオープン。朝方発表された米12月CPIコアが予想を上回ったことや、米12月小売売上高(速報値)は予想を若干下回ったものの前日高値が上方修正され、全体的に堅調な結果となったことからドル買いが強まり海外時間高値111.44を上抜けて本日高値111.70まで上昇。しかし、111円台後半ではドル売り意欲も強く、ドル円は反落。その後、ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁(2018年投票権なし)より「2018年は2回の利上げが適切」との派手な発言が伝わったことや、米金利の低下を受けて111.00まで下落。その後もユーロ、ボンドなどの主要通貨に対してドル売りが強まったことからドル円は111.00を割り込み安値110.92まで下落した。しかし、直近安値となる110.85が意識されたことや、ロングウィークアウトを控えてこの水準では下げ渋り、111.02レベルでクロスした。一方、ユーロは1.2134レベルでNYオープン。朝方の強い米経済指標を受けてドル買いが強まり、1.2111まで下落するも、独政治リスクの後退にこの水準ではユーロ買い意欲も強く、高値1.2218まで急伸。1.2200レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:西谷・西谷